

手が頻繁に触れる環境表面の
洗浄と除菌に

サラヤ 環境清拭クロス

PREMIUM CLEANING

80枚入 ピロータイプ

1枚サイズ：175×200mm

250枚入

1枚サイズ：150×300mm



フタに
開封日が
書き込めます

つり下げることができます

ピロータイプ専用ホルダー

ベッドや回診車などに吊り下げて使いたいときに
しっかり固定できてクロスが取り出しやすい
柔軟性と耐久性に優れたポリプロピレン製

サイズ：W178×D75×H121mm



吊下型

《使用上の注意》

- 乾燥を防ぐために使用後はフタをしっかりと閉めてください。
- 材質・塗装の種類によっては表面が変色・変質することがありますので、目立たない部分で試してから使用してください。
- 機器などに使用のときは機器付属の「取扱説明書」をご覧ください。
- 使用時には手袋を着用してください。
- 不織布は水に溶けませんので、トイレに流さないでください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 使用している不織布の性質上、経時的に不織布が変色することがありますが、使用上問題ありません。
- 表面がざらざらしている箇所や凸凹している箇所には使用しないでください。
- 硬いゴミなどが不織布に付着した場合は、取り除いてから使用してください。そのまま使用すると表面を傷つけるおそれがあります。
- すべての細菌・ウイルスを除去するわけではありません。

《応急処置》

- 液が皮ふに付着した場合は、炎症を起こすことがあるので、すぐに水で洗い流す。
- 液が目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合には眼科医の診断を受ける。

《保管上の注意》

- 熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざける。禁煙。
- 換気のよい涼しい場所で保管する。容器を密閉しておく。
- 小児や認知症の方の手の届かない所に保管する。

品 名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	JANコード
サラヤ環境清拭クロス PREMIUM CLEANING	80枚入ピロータイプ	30	44176	49-87696-44176-7
	250枚入容器	6	44174	49-87696-44174-3
	250枚入詰替	6	44175	49-87696-44175-0
環境清拭用クロスピロータイプ専用ホルダー	本体	10	44177	49-87696-44177-4

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。 ■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。 ■ 掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。
■ 記載内容は2025年3月現在のものです。

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
https://www.saraya.com/

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間：平日 9:00～17:00)

SARAYA

商品の詳しい情報は
こちらから▶



サラヤ 環境清拭クロス

PREMIUM CLEANING

Surface sanitizing wipes

汚れ・細菌・ウイルスを除去

拭きはじめてから拭き終わりまで質の高い環境清拭を実現

繊維構造が均一で
表裏差や密度差が
少ない独自の不織布



80枚入ピロータイプ
1枚サイズ：175×200mm

特許第6821162号

製品特徴

環境清拭に最適化した独自処方と 不織布のマッチング技術を採用

1. 拭きはじめてから拭き終わりまで均一に清拭することができます。(特許第6821162号)
2. 油脂汚れやタンパク汚れに対して高い洗浄効果を有しています。
3. 高い除菌効果・ウイルス不活化効果を有しており清拭後は除菌効果が持続します。
4. プラスチックやステンレスに対して腐食性が低く二度拭きも要りません。



250枚入 容器 大判クロス
1枚サイズ：150×300mm

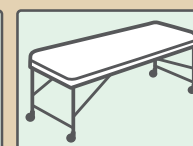
特許第6821162号

用 途

ドアノブ・オーバーテーブル・ベッド柵・
ME機器など、手が頻繁に触れる部位の
洗浄・除菌に。



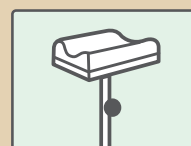
ME機器に



処置台に



ベッド柵、オーバーテーブルに



注射台に

※機器などに使用のときは機器付属の「取扱説明書」をご覧ください。

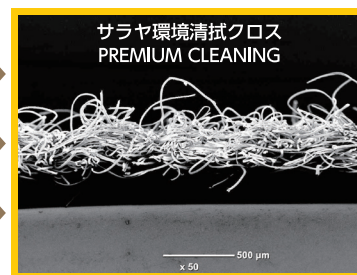
独自処方と不織布のマッチング技術

【環境表面の清拭に最適な不織布】

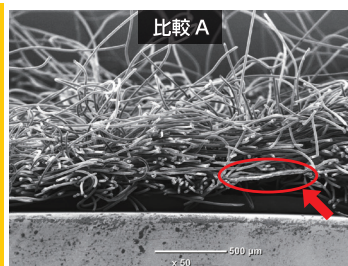
繊維構造が均一

表裏差や密度差が少ない

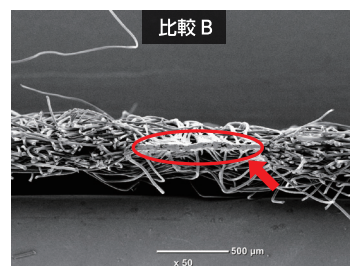
小さい空隙が多い



表裏差や密度差なし



表裏差や密度差あり



密度差あり

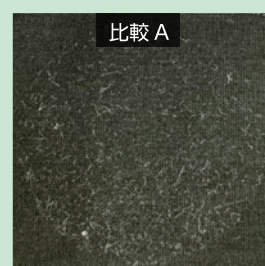
【清拭面が適度に均一に濡れる】（特許第6821162号 表3～表8引用）

液を不織布に含浸させて一定荷重をかけたときの濡れ性比較

	サラヤ環境清拭クロス PREMIUM CLEANING	比 較 1	比 較 2	比 較 3
弊社独自処方	○	○	×	×
弊社独自不織布	○	×	○	○
外 観	 均一に濡れている	 全体的に濡れていない	 局地的に濡れている	 過剰に濡れている

【清拭後にリント（繊維くず）が目立たない】

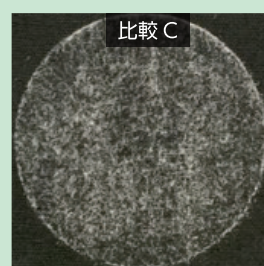
清拭後のリントの比較



比較 A



比較 B



比較 C

【耐薬品性】

各種材質のプラスチックテストピースを、サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGの専用液に完全に浸かるように浸漬し、25℃で7日間放置しました。放置前後のテストピースと浸漬液の外観変化を調べました。

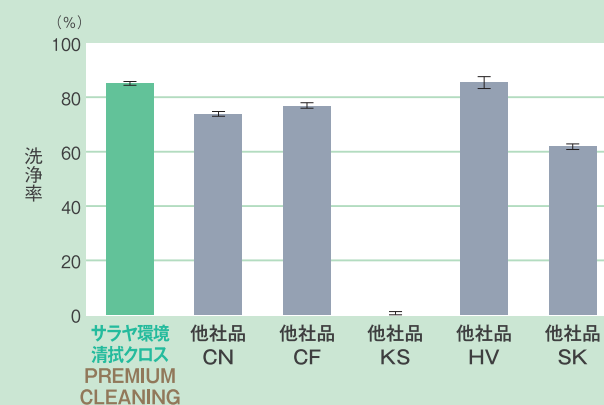
材 質	外観変化		材 質	外観変化	
	表面の変化	浸漬液の変化		表面の変化	浸漬液の変化
ポリエチレン	変化なし	変化なし	ABS樹脂	変化なし	変化なし
ポリプロピレン	変化なし	変化なし	アクリル	変化なし	変化なし
ポリカーボネート	変化なし	変化なし	塩化ビニル	変化なし	変化なし
ポリスチレン	変化なし	変化なし	フェノール樹脂	変化なし	変化なし
ポリアミド	変化なし	変化なし	ポリアセタール	変化なし	変化なし

実使用を想定した洗浄効果・除菌効果・ウイルス不活化効果を評価

【洗浄効果】 清拭によるタンパク汚れおよび油脂汚れに対する洗浄効果を評価しています。

① タンパク汚れに対する洗浄力

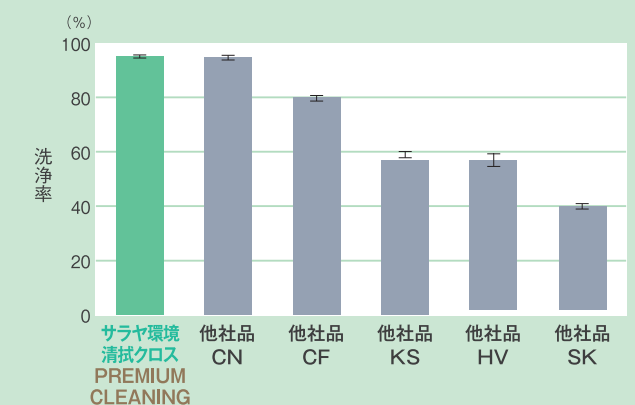
ステンレステストピースにモデルタンパク汚れを付着させ、乾燥させた後にサラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGで清拭しました。



サラヤ環境清拭クロス PREMIUM CLEANINGはタンパク汚れおよび油脂汚れに対して高い洗浄力を有しています。

② 油脂汚れに対する洗浄力

ステンレステストピースにモデル油脂汚れを付着させ、乾燥させた後にサラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGで清拭しました。



【除菌効果・ウイルス不活化効果】 絞り液と清拭による除菌効果およびウイルス不活化効果を評価しています。

① 絞り液を用いた除菌効果・ウイルス不活化効果

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGから絞りとした液（絞り液）を用いて除菌効果およびウイルス不活化効果を評価しました。

なお、除菌効果およびウイルス不活化効果の評価は、環境消毒薬の評価指針2020を参考にして実施しました。

【環境消毒薬の評価指針2020における
環境消毒薬の評価基準】
殺細菌効果 …… *Pseudomonas aeruginosa* ATCC 15442
などの細菌を4Log₁₀以上減少させる
殺ウイルス効果 … *Feline calicivirus* F9などのウイルスを
3Log₁₀以上減少させる
※小数点以下は切り捨て

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGの絞り液は、各種細菌・真菌・ウイルスに対して、高い除菌効果・ウイルス不活化効果を示しました。

② 清拭による除菌効果

欧州規格EN16615:2015で定められたワイプ試験として、汚染部位の除菌効果および周辺部位への菌の移行を評価しました。

【指定菌種】
黄色ブドウ球菌 *Staphylococcus aureus* ATCC 6538
エンテロコッカス・ヒラエ *Enterococcus hirae* ATCC 10541
緑膿菌 *Pseudomonas aeruginosa* ATCC 15442
カンジダ アルビカンス *Candida albicans* ATCC 10231

【EN16615:2015 要求事項】
● 区画T1の対数減少値が、細菌で5.0Log₁₀以上、真菌で4.0Log₁₀以上であること
● 区画T2～区画T4の残存菌数の平均が50CFU以下であること

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGは、欧州規格EN16615:2015で定められたワイプ試験の要求事項を満たしました。

【TOPICS】 EN16615:2015 について

EN16615:2015とは、欧州標準化委員会が定めた欧州規格のワイプ試験であり、実使用を想定した拭き取り試験法です。試験は不潔条件で実施し、汚染部位の除菌効果および周辺部位への菌の移行を評価します。試験の指定菌種は、細菌として黄色ブドウ球菌、エンテロコッカス・ヒラエ、緑膿菌、真菌としてカンジダアルビカンスを使用します。測定した結果、汚染部位の対数減少値が細菌で5.0Log₁₀以上、真菌で4.0Log₁₀以上であること、周辺部位の残存菌数の平均が 50CFU以下であることが要求事項として定められています。